

平成26年度
事業棚卸し

評価結果

平成26年10月3日

コーディネーター

細井 由彦

評 価 者

小野 達也

野津 あきこ

中原 秀樹

西口 亨貞

細木 福雄

向井 恵美子

毛利 礼和奈

目 次

1	評価結果	1
2	評価結果集計表（事業別）	3
 (参考)		
1	事業棚卸しの目的	1 2
2	実施体制	1 2
3	評価対象事業の選定	1 2
4	評価の方法	1 3
5	評価スケジュール	1 4
6	傍聴者数	1 4
7	評価者からの意見	1 4
8	コーディネーター・評価者名簿	1 5

評 価 結 果

◆現状どおり (拡充含む) 0 事業

◆改善継続 8 事業

◆抜本的見直し(廃止含む) 0 事業

計 8 事業

平成26年度事業棚卸し 評価結果一覧

NO	所属名	事業名	事業費 (トータルコスト) 単位:千円	採点結果(3点満点)			評価結果			総括コメント
				必要性	効果性	実施主体	現状どおり (拡充含)	改善継続	抜本的見直し (廃止含)	
1	文化観光スポーツ局まんが王国官房	まんが王国発ソフトパワー事業	247,793 (286,488)	2.6	2.0	2.0		○		<p>これまで多くの事業を実施してきたが、客観的な成果の検証が不十分である。</p> <p>他県との差別化による観光振興や産業振興という意義は分かるが、今後はメリハリをつけた事業実施が必要である。</p> <p>適宜、軌道修正を行いながら進めていく必要があるが、行政だけで取り組むには判断が難しい分野であり、民間(プロデューサー的な役割)の力を活用するなどのやり方も含め、今後の事業の進め方の検討が必要である。</p>
2	福祉保健部長寿社会課	とっとり支え愛の取組	/	/	/	/	/	/	/	
		とっとり支え愛体制づくり事業	40,678 (46,095)	2.9	2.1	2.4		○		<p>地域で新たな取組を始めようとする場合に、使いやすい制度であり、ニーズがあることは認められるが、効果の検証はしっかりと行うべきである。</p> <p>人口減少・高齢化社会の中で、モデル的な取組のフォローを行い、その成果を広く周知することで、県民に対して、将来に向けた安心を提供できる環境を作っていくことが必要である。</p> <p>更に、それを全国へ発信していただきたい。</p>
		みんなで支え愛！災害時要支援者対策推進事業	16,300 (21,717)	2.6	2.3	1.9		○		<p>マップづくりを通して自治会活動の活性化に繋がる、分かりやすく良い取組ではあるが、市町村等が事業主体で実施すべきであり、しかるべきタイミングで市町村や社会福祉協議会へ実施主体を移行していくことが必要である。</p>
3	生活環境部循環型社会推進課	Let's4R実践拡大事業	52,927 (62,988)	2.3	1.7	2.1		○		<p>リサイクル(再資源化)の取組成果が、「地球環境問題」等で表現せざるを得ないのは理解できるが、実生活から遠く、数値として見え難い。日々、リサイクル等に取り組んでいる県民に対して、目に見えたり、実感できる効果をわかりやすく説明する工夫を行ってほしい。</p> <p>本事業での取組は、リサイクルの取組が目立つが、その他のR(リフューズ(断る)・リデュース(減らす)・リユース(再使用))の取組も進め、4R全体で県民に訴えていくことが重要である。</p>
4	地域振興部とっとり暮らし支援課	移住定住促進への取組	/	/	/	/	/	/	/	
		とっとり移住定住支援事業	10,427 (21,262)	2.7	1.6	2.0		○		<p>相当なコストをかけて様々な取組を実施しているが、その取組の成果として、どの程度移住者数が増加したのかなどの効果検証が不十分である。</p> <p>2000人という目標を達成した今、この事業の目的・目標を改めて整理し、事業効果を確認するべきである。</p>
		移住2000人達成事業	72,696 (79,661)							
鳥取県移住定住推進交付金	71,710 (80,997)	2.6	1.6	2.0		○		<p>そのためにも、市町村と連携して、移住の理由・移住に当たって利用した行政支援・定着状況などのデータを整理・分析し、今後の取組に繋げていくことが重要である。</p>		
5	未来づくり推進局県民課	広聴実施事業(パブリックコメント、県政参画電子アンケート、出前説明会、アンケートシステム整備)	11,953 (26,657)	2.0	1.7	2.3		○		<p>電子アンケートの分析手法等に課題があり、改善すべき。</p> <p>それぞれの広聴手法の特色を活かし、目的に応じた手法の選択や組み合わせができるように、全庁の広聴の取組を所管している県民課が各所属をサポートするほか、職員研修などで全体の底上げを行うことが必要である。</p> <p>広聴制度で声を上げる者に偏りが出てしまうことはやむを得ない面もあるが、県予算に限りがある中でも、より一層幅広い層からの意見を拾えるように、創意工夫を続けていただきたい。</p>

評価結果集計表（事業別）

事業棚卸し評価結果集計表

事業番号	1	事業名	まんが王国発ソフトパワー事業
------	---	-----	----------------

【採点結果】

	平均点
必要性	2.6
効果性	2.0
実施主体	2.0

【採点内訳】

(単位:人)

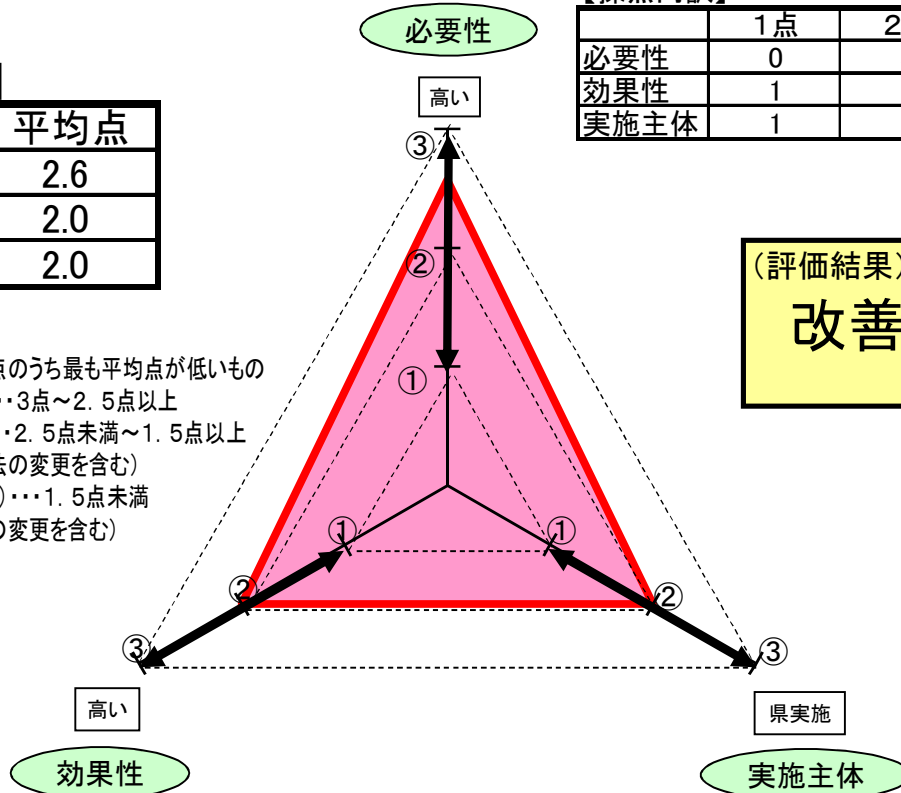
	1点	2点	3点
必要性	0	3	4
効果性	1	5	1
実施主体	1	5	1

【評価結果】

改善継続

【評価の目安】：3つの視点のうち最も平均点が低いもの

- ・現状どおり(拡充含む)・・・3点～2.5点以上
- ・改善継続・・・2.5点未満～1.5点以上
(民間委託等の実施手法の変更を含む)
- ・抜本的見直し(廃止含む)・・・1.5点未満
(県以外への実施主体の変更を含む)



【総括】

- ・これまで多くの事業を実施してきているが、客観的な成果の検証が不十分である。
- ・他県との差別化による観光振興や産業振興という意義は分かるが、今後はメリハリをつけた事業実施が必要である。
- ・適宜、軌道修正を行いながら進めていく必要があるが、行政だけで取り組むには判断が難しい分野であり、民間(プロデューサー的な役割)の力を活用するなどのやり方も含め、今後の事業の進め方の検討が必要である。

事業棚卸し評価結果集計表

事業番号	2①	事業名	とっとり支え愛の取組①(とっとり支え愛体制づくり事業)
------	-----------	-----	-----------------------------

【採点結果】

	平均点
必要性	2.9
効果性	2.1
実施主体	2.4

【採点内訳】

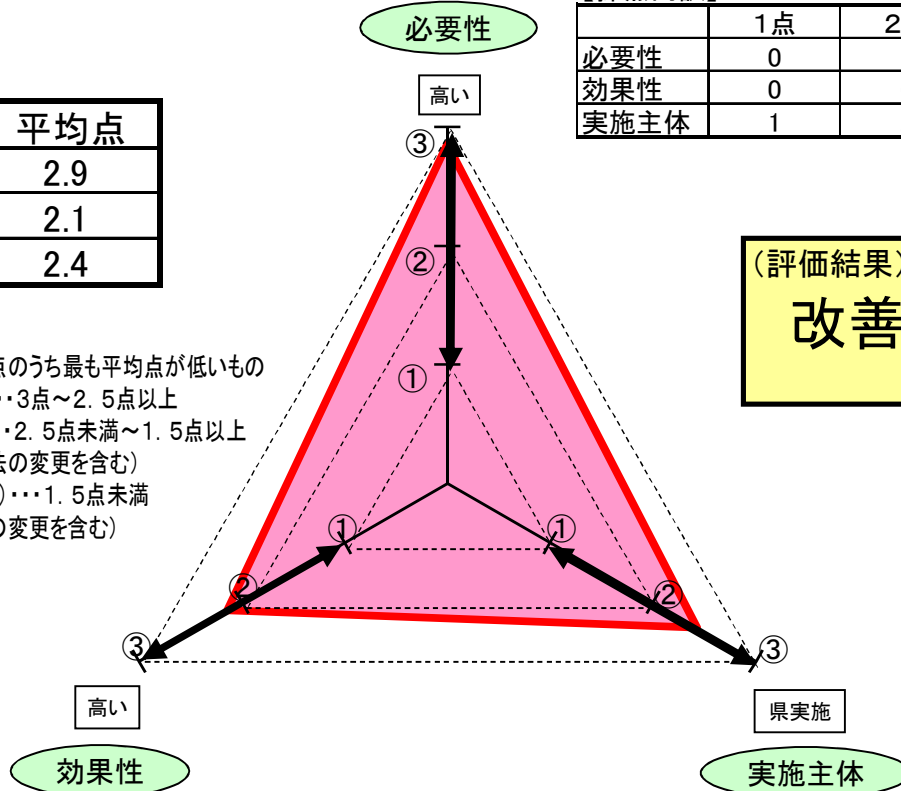
(単位:人)

	1点	2点	3点
必要性	0	1	6
効果性	0	6	1
実施主体	1	2	4

【評価結果】

改善継続

- 【評価の目安】：3つの視点のうち最も平均点が低いもの
- ・現状どおり(拡充含む)・・・3点～2.5点以上
 - ・改善継続・・・2.5点未満～1.5点以上
(民間委託等の実施手法の変更を含む)
 - ・抜本的見直し(廃止含む)・・・1.5点未満
(県以外への実施主体の変更を含む)



【総括】

- ・地域で新たな取組を始めようとする場合に、使いやすい制度であり、ニーズがあることは認められるが、効果の検証はしっかりと行うべきである。
- ・人口減少・高齢化社会の中で、モデル的な取組のフォローを行い、その成果を広く周知することで、県民に対して、将来に向けた安心を提供できる環境を作っていくことが必要である。
- ・更に、それを全国へ発信していただきたい。

事業棚卸し評価結果集計表

事業番号	2②	事業名	とっとり支え愛の取組②(みんなで支え愛！災害時要支援者対策推進事業)
------	-----------	-----	------------------------------------

【採点結果】

	平均点
必要性	2.6
効果性	2.3
実施主体	1.9

【採点内訳】

(単位:人)

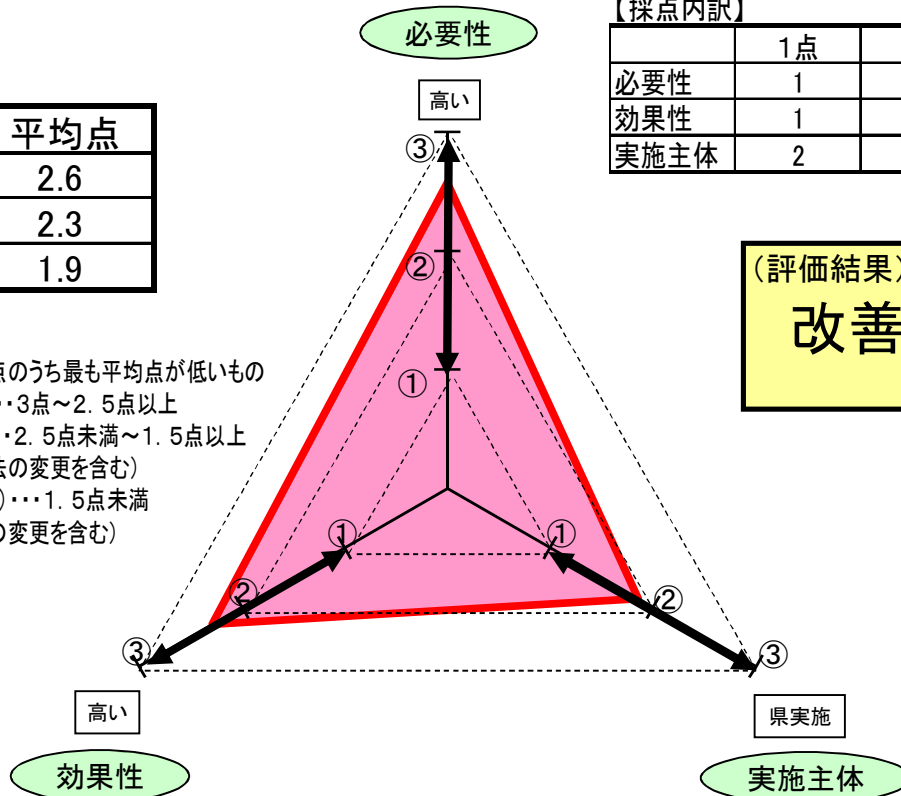
	1点	2点	3点
必要性	1	1	5
効果性	1	3	3
実施主体	2	4	1

【評価結果】

改善継続

【評価の目安】：3つの視点のうち最も平均点が低いもの

- ・現状どおり(拡充含む)・・・3点～2.5点以上
- ・改善継続・・・2.5点未満～1.5点以上
(民間委託等の実施手法の変更を含む)
- ・抜本的見直し(廃止含む)・・・1.5点未満
(県以外への実施主体の変更を含む)



【総括】

・マップづくりを通して自治会活動の活性化に繋がる、分かりやすく良い取組ではあるが、市町村等が事業主体で実施すべきであり、しかるべきタイミングで市町村や社会福祉協議会へ実施主体を移行していくことが必要である。

事業棚卸し評価結果集計表

事業番号	3	事業名	Let's4R実践拡大事業
------	----------	-----	---------------

【採点結果】

	平均点
必要性	2.3
効果性	1.7
実施主体	2.1

【採点内訳】

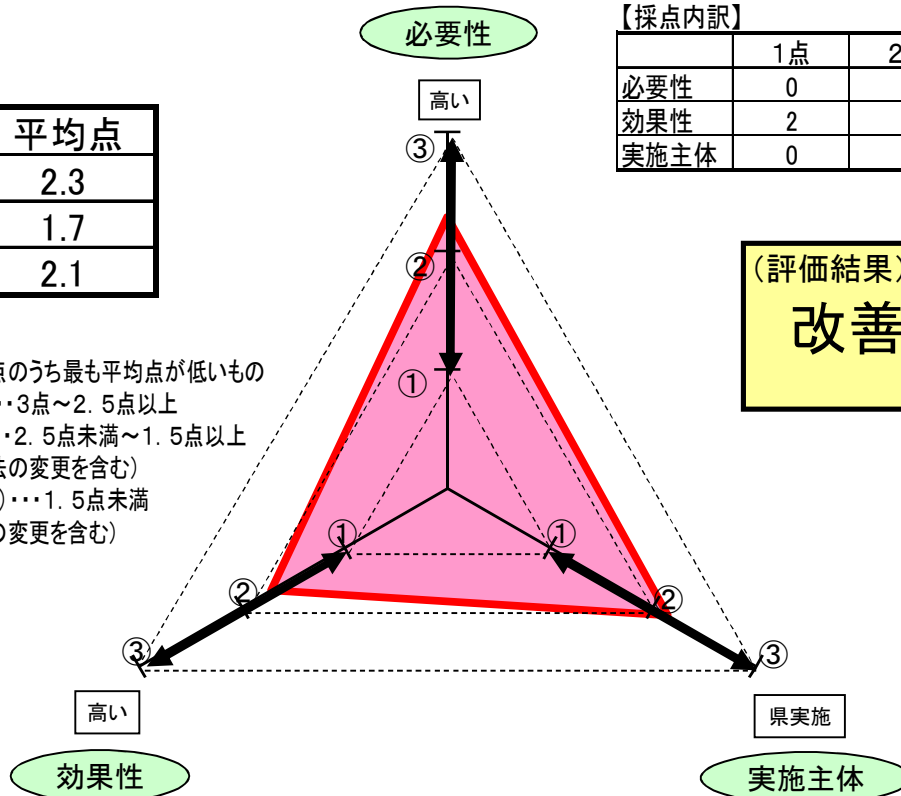
(単位:人)

	1点	2点	3点
必要性	0	5	2
効果性	2	5	0
実施主体	0	6	1

(評価結果)

改善継続

- 【評価の目安】：3つの視点のうち最も平均点が低いもの
- ・現状どおり(拡充含む)・・・3点～2.5点以上
 - ・改善継続・・・2.5点未満～1.5点以上
(民間委託等の実施手法の変更を含む)
 - ・抜本的見直し(廃止含む)・・・1.5点未満
(県以外への実施主体の変更を含む)



【総括】

・リサイクル(再資源化)の取組成果が、「地球環境問題」等で表現せざるを得ないのは理解できるが、実生活から遠く、数値として見え難い。日々、リサイクル等に取り組んでいる県民に対して、目に見えたり、実感できる効果をわかりやすく説明する工夫を行ってほしい。

・本事業での取組は、リサイクルの取組が目立つが、その他のR(リフューズ(断る)・リデュース(減らす)・リユース(再使用))の取組も進め、4R全体で県民に訴えていくことが重要である。

事業棚卸し評価結果集計表

事業番号	4①	事業名	移住定住促進への取組(とっとり移住定住支援事業、移住2000人達成事業)
------	----	-----	--------------------------------------

【採点結果】

	平均点
必要性	2.7
効果性	1.6
実施主体	2.0

【採点内訳】

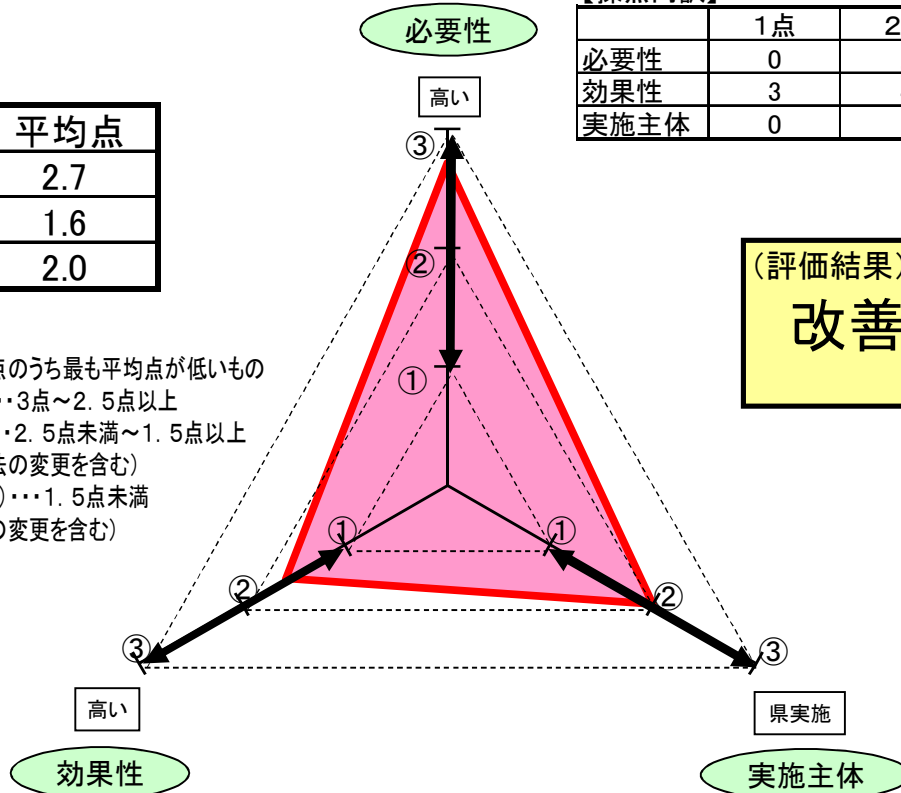
(単位:人)

	1点	2点	3点
必要性	0	2	5
効果性	3	4	0
実施主体	0	7	0

(評価結果)

改善継続

- 【評価の目安】：3つの視点のうち最も平均点が低いもの
- ・現状どおり(拡充含む)・・・3点～2.5点以上
 - ・改善継続・・・2.5点未満～1.5点以上
(民間委託等の実施手法の変更を含む)
 - ・抜本的見直し(廃止含む)・・・1.5点未満
(県以外への実施主体の変更を含む)



【総括】

- ・相当なコストをかけて様々な取組を実施しているが、その取組の成果として、どの程度移住者数が増加したのかなどの効果検証が不十分である。
- ・2000人という目標を達成した今、この事業の目的・目標を改めて整理し、事業効果を確認するべきである。
- ・そのためにも、市町村と連携して、移住の理由・移住に当たって利用した行政支援・定着状況などのデータを整理・分析し、今後の取組に繋げていくことが重要である。

事業棚卸し評価結果集計表

事業番号	4②	事業名	移住定住促進への取組(鳥取県移住定住推進交付金)
------	-----------	-----	--------------------------

【採点結果】

	平均点
必要性	2.6
効果性	1.6
実施主体	2.0

【採点内訳】

(単位:人)

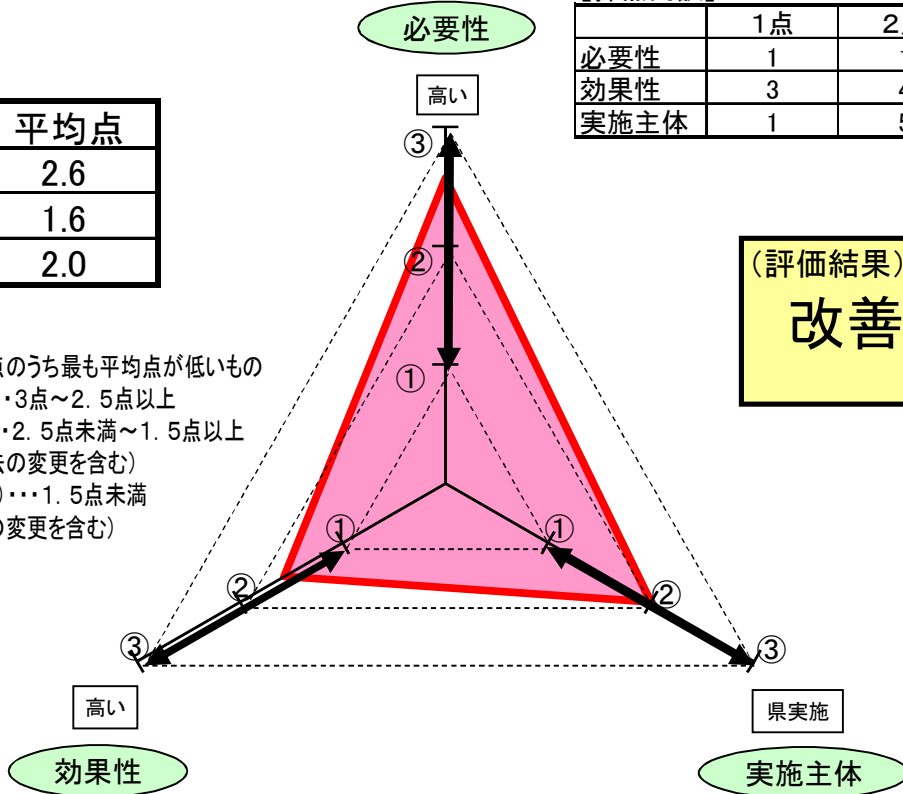
	1点	2点	3点
必要性	1	1	5
効果性	3	4	0
実施主体	1	5	1

(評価結果)

改善継続

【評価の目安】: 3つの視点のうち最も平均点が低いもの

- ・現状どおり(拡充含む)・・・3点～2.5点以上
- ・改善継続・・・2.5点未満～1.5点以上
(民間委託等の実施手法の変更を含む)
- ・抜本的見直し(廃止含む)・・・1.5点未満
(県以外への実施主体の変更を含む)



【総括】

※4①の総括欄で4②も一括して記載

事業棚卸し評価結果集計表

事業番号	5	事業名	広聴実施事業(パブリックコメント、県政参画電子アンケート、出前説明会、アンケートシステム整備)
------	---	-----	---

【採点結果】

	平均点
必要性	2.0
効果性	1.7
実施主体	2.3

【採点内訳】

(単位:人)

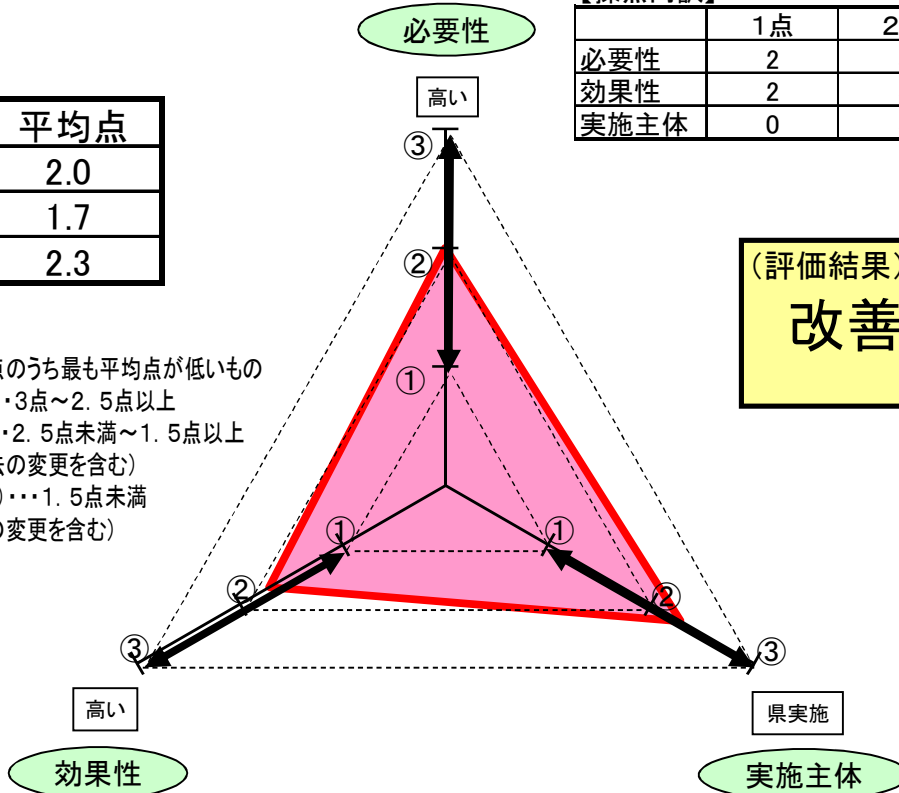
	1点	2点	3点
必要性	2	3	2
効果性	2	5	0
実施主体	0	5	2

【評価結果】

改善継続

【評価の目安】：3つの視点のうち最も平均点が低いもの

- ・現状どおり(拡充含む)・・・3点～2.5点以上
- ・改善継続・・・2.5点未満～1.5点以上
(民間委託等の実施手法の変更を含む)
- ・抜本的見直し(廃止含む)・・・1.5点未満
(県以外への実施主体の変更を含む)



【総括】

- ・電子アンケートの分析手法等に課題があり、改善すべき。
- ・それぞれの広聴手法の特色を活かし、目的に応じた手法の選択や組み合わせができるように、全庁の広聴の取組を所管している県民課が各所属をサポートするほか、職員研修などで全体の底上げを行うことが必要である。
- ・広聴制度で声を上げる者に偏りが出てしまうことはやむを得ない面もあるが、県予算に限りがある中でも、より一層幅広い層からの意見を拾えるように、創意工夫を続けていただきたい。

【 参 考 】

1 事業棚卸しの目的

全庁的に、限られた資源の有効活用、業務の効率化に取り組む中で、従来の工程表の作成・運用、サマーレビューといった内部の視点による予算事業の点検に加え、外部の視点による予算事業の点検を実施して、今後の予算の編成作業に活用することを目的としています。

【内部の視点による点検】

工程表（P D C A）
の作成・運用

サマーレビュー

【外部の視点による点検】

事業棚卸し

予算編成

2 実施体制

(評価体制)

コーディネーター1名

評価者7名（有識者委員2名、県民委員5名）

※県民委員・・・公募により選任した委員

事業棚卸し

・日時：平成26年8月30日 午前10時～午後4時20分
31日 午前10時～午後2時10分

・場所：議会棟別館3階 第4委員会室 ※インターネットによる同時配信を実施。

3 評価対象事業の選定

平成26年度の県のすべての事業（以下を除く）を対象とし、以下の視点から、評価者会議において8事業を選定しました。

※原則として、事業棚卸しの対象から除くもの

- ・平成26年度の新規事業
- ・予算額が比較的少額の事業（トータルコストが100万円未満）
- ・他の方法で外部の評価を受けている事業

※事業選定の視点

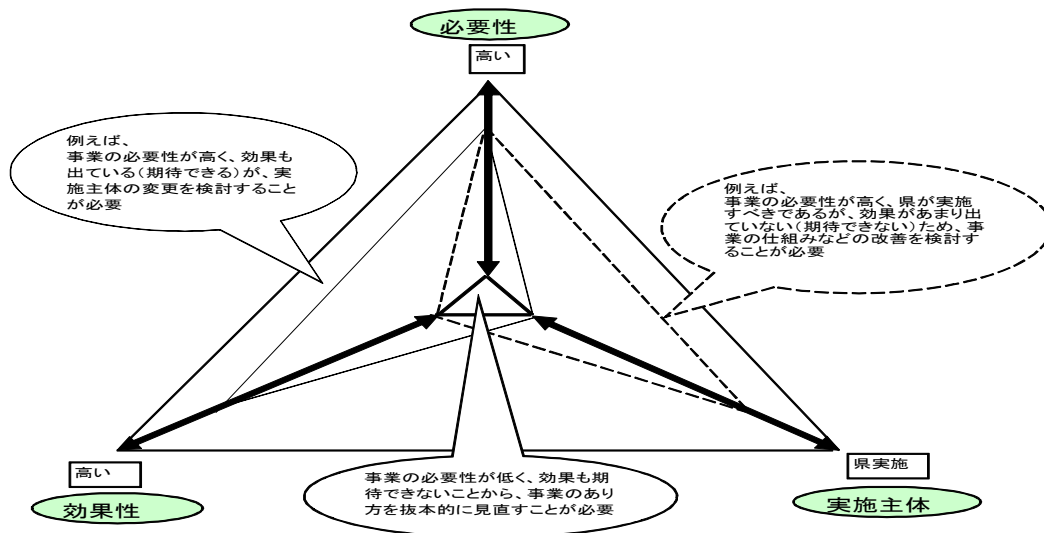
必要性	・事業の実績等が低調であり、事業継続の検証が必要なもの ・事業開始後一定期間経過し、事業効果の検証が必要なもの
有効性	・県関与のあり方の検証が必要なもの ・目的を達成する手段として有効か検証が必要なもの
効率性	・県と市町村・団体との役割分担等の検証が必要なもの ・費用対効果の検証が必要なもの

No.	事業名	所属名
1	まんが王国発ソフトパワー事業	文化観光スポーツ局 まんが王国官房
2	とっとり支え愛の取組 ・とっとり支え愛体制づくり事業 ・みんなで支え愛！災害時要支援者対策推進事業	福祉保健部 長寿社会課
3	Let's 4R 実践拡大事業	生活環境部 循環型社会推進課
4	移住定住促進への取組 ・とっとり移住定住支援事業 ・移住 2000 人達成事業 ・鳥取県移住定住推進交付金	地域振興部 とっとり暮らし支援課
5	広聴実施事業（パブリックコメント、県政参画 電子アンケート、出前説明会、アンケートシステム 整備）	未来づくり推進局 県民課

4 評価の方法

- (1) 1事業あたりの所要時間を原則100分（事前調査30分、棚卸し当日70分）とし、事業の要・不要だけでなく、事業の見直しの方向性、改善の方向性も含めて提案・提言します。
- (2) 対象事業の必要性は高いか、その実施方法は効果的なものとなっているか、最適な実施主体はどこか、といった視点から評価を行います。
- (3) 評価結果は3段階（現状どおり（拡充含む）、改善継続、抜本的見直し（廃止含む））で行い、評価者の意見を基に、評価結果をとりまとめました。

※評価のイメージ



5 評価スケジュール

評価者会議	開催日	内容等
第1回	平成26年5月30日	事業選定の視点、評価の進め方等の検討
第2回	平成26年7月2日	対象事業の選定
第3回	平成26年8月6日	事業課を交えた対象事業内容の事前調査、棚卸し当日の進め方等の確認
最終会議	平成26年8月30日 ～31日	評価実施

6 傍聴者数

(1) 来場者数

8/30(土)	13名
8/31(日)	5名
計	18名

(2) インターネットライブ中継アクセス数 (延べ数)

8/30(土)	79
8/31(日)	34
計	113

(3) 傍聴者からの主なご意見

- ・県の事業は、その手法は別にして必要があって実施しているものだと思う。この事業棚卸しにより、抜本的見直し（廃止）に繋がるのか疑問。
- ・評価点が3点制であり2点の比重が高くなる傾向があったが、評価方法としてはどうかと思う。5点制の方がよいのではないか。
- ・県民が県の事業に関心を持つ良い機会になっていると思うが、傍聴者が少ない。

7 評価者からの意見

今回の評価者から寄せられた意見の主なものは以下のとおりでした。

①評価対象事業の選定	<ul style="list-style-type: none"> ・対象とした事業は、「何のためにやっているのだろうか」などのそもそも論を議論するものは無かった。 ・事業棚卸しは、不要な事業を『仕分け』するという性悪説的なものではなく、県の事業を評価するという役目が大きくなっている。
②評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・国が以前にやっていた事業仕分けではないので、低い評価点を出すことが目的ではないが、3点評価は難しいので、4点制などもあるのではないか。 ・点数評価が難しい事業があった。チェック項目にしたがって「○」「×」をつける方式の方が評価しやすいと感じた。
③その他	<ul style="list-style-type: none"> ・自分は行政施策に興味があるから県民委員に応募したが、無作為で抽出した者を委員として評価に加える方式もあるのかもしれない。 ・民間の感覚として、実績をあまり重視しない県の予算計上の方法は理解できなかった。効果検証が出来ておらず、全体的に予算がゆるい印象を受けた。

8 コーディネーター・評価者名簿

区分	氏名	所属
コーディネーター	細井 由彦	鳥取大学 理事(企画・評価担当、広報担当)・副学長
評価者(7名)	小野 達也	鳥取大学地域学部地域政策学科 教授
	野津 あきこ	鳥取短期大学生活学科食物栄養専攻 教授
	中原 秀樹	県民委員
	西口 亨貞	県民委員
	細木 福雄	県民委員
	向井 恵美子	県民委員
	毛利 礼和奈	県民委員
事務局 (コーディネーター補佐)	末永 洋之	鳥取県総務部長
	伊澤 勇人	鳥取県総務部行財政改革局長

(敬称略。評価者は有識者委員・県民委員の順に五十音順。)

◆事業棚卸し当日の様子

